ご使用のまえに

「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用される方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止
分解禁止	注意	感電注意
指示を守る		

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは必ず保管してください。

⚠ 警 告（無線機について）

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。
- 当社指定の電池パック・充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機で使用できる電池はオプションのリチウムイオン電池パック CBP585LI です。
- 無線機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
  また、分解・改造を行った機器を使用すると法律違反（電波法違反）となります。
- 電池パックは分解しないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因になります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で無線機に電池パックを取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。
- 無線機は耐塵・防水基準のIP65/IP68 に準拠しています。水に濡れた場合は、水滴を早めに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 警 告（無線機について）

- 端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。
- 電池パックは火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 電池パックの端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池パックを単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。

⚠ 注 意（無線機について）

- この無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では、この機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 使用中は機器が熱を持ちますが、故障ではありません。

⚠ 注 意（リチウムイオン電池パックについて）

- 希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったリチウムイオン電池パックは廃棄せず、販売店またはCSRカスタマーサポートまたはリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

⚠ お願い

- 通信は無線局免許状に記載されている目的・通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。
- 1回の送信時間は5分を越えないでください。
- 使用する前には、必ず無線機が正常動作するか、電池パックが十分に充電されているか、アンテナが正しく装着されているかなどを確認してください。無線機の故障による事故の責任は負いかねます。
- 通信可能範囲は地形および電波状況によって異なります。必ず通信可能範囲でご使用ください。通信不可能状態での事故の責任は負いかねます。

wave CSR

デジタル / アナログ簡易無線機
（総務省技術基準適合品）
HX585VJD121
（VHF 帯 / 無線局種別コード：3A（免許局））

デジタル簡易無線機
（総務省技術基準適合品）
HX585UJD121
（UHF 帯 / 無線局種別コード：3B（免許局））

簡易取扱説明書

本書に記載のない操作については販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

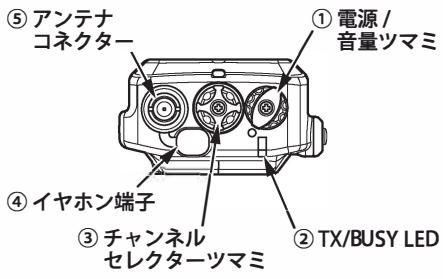
株式会社CSR

〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で閲覧できます。
https://www.kcsr.co.jp/wavecsr.html

各部の名称と機能説明

上面部（リチウムイオン電池パック装着時）



① 電源 / 音量ツマミ
このツマミは、電源の入・切と音量の調整を行います。
右（時計方向）に回すと電源が入り、さらに右に回すと音量が大きくなります。
左（反時計方向）に回すと音量が小さくなり、左に回しきると電源が切れます。

② TX/BUSY LED
LED 点灯状態により本機の状態を知らせます。

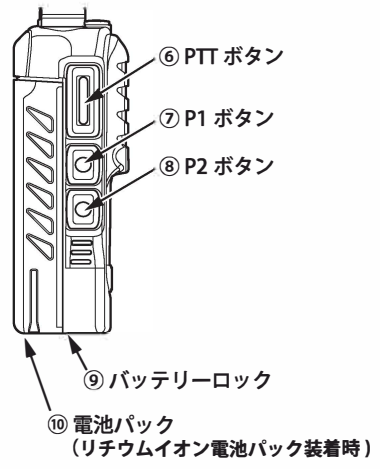
緑色点灯	ユーザーコード通話受信時、他局通話受信時
赤色点灯	ユーザーコード通話送信時、個別通話送信時
赤色点滅	電池パック消耗時
緑色点灯	個別通話受信時
緑色点滅	個別通話応答待ち
青色点灯	秘話送信時、秘話受信時
青色点滅	秘話個別通話応答待ち
白色点滅	エマジェンシー動作時（緊急アラーム音の鳴動・緊急信号の送受信）

③ チャンネルセレクターツマミ
このツマミを回して、使用したいチャンネルを選択します。
設定モードで、このツマミを回して数値の桁などの変更を行うことができます。

④ イヤホン端子
イヤホンを使用する場合は、ここにオプションの専用イヤホンを挿します。その際、スピーカーからの音は出なくなります。

⑤ アンテナコネクター（SMA タイプ）
付属のヘリカルアンテナを取り付けます。

側面部（リチウムイオン電池パック装着時）



⑥ PTT ボタン
送信を開始する場合には、このボタンを押します。このボタンを押している間、TX/BUSY LED は赤色に点灯します。

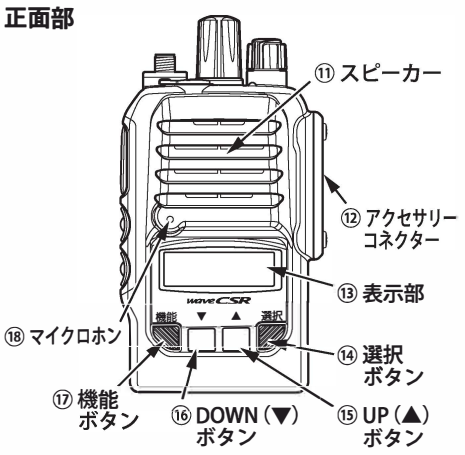
⑦ P1 ボタン
このボタンを押すとモニター機能になります。受信中にこのボタンを長押しするとボイス録音を開始します。また、このボタンは、設定ツールソフトでMONI（モニター）、SCAN/EMG（スキャン/エマジェンシー）、2nd PTT（セカンドPTT）などの機能を割り当てることができます。

⑧ P2 ボタン
このボタンを押すとスキャンを開始します。このボタンを長押しするとエマジェンシー動作になります。また、このボタンは、設定ツールソフトでMONI（モニター）、SCAN/EMG（スキャン/エマジェンシー）、2nd PTT（セカンドPTT）などの機能を割り当てることができます。

⑨ バッテリーロック
電池パックのロック機構で、本機から電池パックを取り外す時に使用します。

⑩ 電池パック
本機にDC 電源を供給します。
- 専用充電器で充電します。

正面部



⑪ スピーカー
受信音声やビープ音などが出力されます。

⑫ アクセサリーコネクター
アクセサリーコネクターカバーを外し、オプションのマイク＆スピーカーなどを取り付けます。

⑬ 表示部
本機の状態やチャンネル番号などを表示します。詳細は、「表示部」をご覧ください。

⑭ 選択ボタン
このボタンを押すとUC（ユーザーコード）の設定や呼び出し方法（一斉・グループ・個別）の変更ができます。また、設定モードで、このボタン押すと設定項目と内容・数値の決定を行うことができます。

⑮ UP（▲）ボタン
チャンネルをアップさせます。
設定モードで、このボタンを押すと設定項目と内容・数値の選択を行うことができます。

⑯ DOWN（▼）ボタン
チャンネルをダウンさせます。
このボタンを長押しすると、キーロックの設定・解除になります。
設定モードで、このボタンを押すと設定項目と内容・数値の選択を行うことができます。

⑰ 機能ボタン
このボタンを押すとプレイバックデータの再生などの機能を呼び出します。また、このボタンを押したまま、電源を入れると設定モード（呼び出し設定・機能設定・セット管理番号）になります。設定モードで、このボタンを押すとモードの変更を行うことができます。

⑱ マイクロホン
PTT ボタンを押したまま、この部分に向かってゆっくり、はっきりと話します。

■本体付属品

ご使用前に下記の付属品がそろっているか確認してください。

- 無線機本体 1
- ヘリカルアンテナ 1
- 樹脂製ベルトクリップ（CBH585） 1
- 簡易取扱説明書（本書） 1
- 保証書 1

■オプション

● リチウムイオン電池パック：	CBP585LI
● 急速充電器：	CSA585
● ACアダプター（CSA585 単独用）：	CAA1210FC
● ACアダプター（CSA585 連結用）：	CAA1283FA
● 小型マイク＆スピーカー：	CMP586
● マイク＆スピーカー：	MP800JA
● マイクスタンド（CSA585 取り付け）：	MS01
● タイピン型イヤホンマイク：	CTM500
● イヤホン：	EP850
● キャリングケース：	CLC585
● 樹脂製ベルトクリップ：	CBH585
● 金属製ベルトクリップ：	CBH586
● ヘリカルアンテナ	
HX585VJD121 用：	YR99015230
HX585UJD121 用：	YR99010170

Printed in Japan 2021/02 97BC851122

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 北海道旭川市6条通8-36-25 セントラル旭川7F-G号室 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5本町EASTビル7F URL：https：//www.exseli.com/

⚠ 無線局免許が必要です

本機をお使いになる前に、総務省総合通信局への無線局免許申請が必要です。免許申請を行って、無線局免許状がお手元に届いてからご使用ください。

- 無線局開設後は、電波利用料の納付が必要となります。総務省からの納入告知書に従って、期限内に納付してください。

無線局の免許申請手続きや開設届をしていない、上空で使用する、指定以外のアンテナを使うといった行為は不法無線局の開設となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。

- 本製品は、日本国内における陸上で運用する無線局です。上空および海上で運用すると違法運用となります。
- アンテナは指定のものをお使いください。指定以外のアンテナを使用すると違法運用となります。指定のアンテナにつきましては、販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

音声圧縮（符号化）について

本製品は米国DVSI社の開発したAMBE (Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用し、AMBE+2™に対応しています。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. This software is licensed solely for use within this product. US Patent Nos. #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495, #6,199,037, #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,715,365, #5,701,390, #5,649,050, #5,630,011, and #5,517,511.

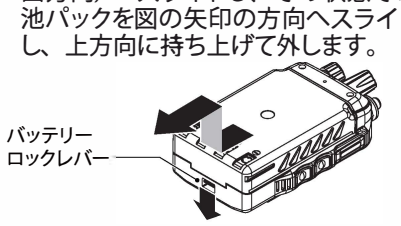
本書に記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。

ご使用前の準備

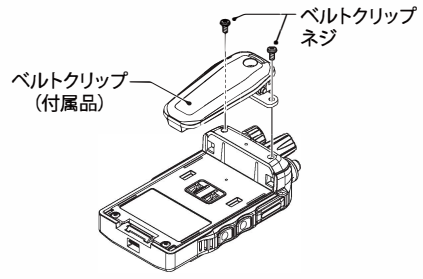
ベルトクリップの取り付け

① 本機の電源が切れていることを確認します。
- 電源が入っているときは、**電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回して本機の電源を切ります。

② 電池パックを取り外します。
- **バッテリーロックレバー**を下方（本機前面方向）へスライドし、その状態で電池パックを図の矢印の方向へスライドし、上方向に持ち上げて外します。



③ 本機にベルトクリップを取り付けます。
- ベルトクリップは必ず付属のベルトクリップネジ（M3ワッシャー付きネジ）で2ヶ所しっかり固定します。



⚠ 注 意

- ベルトクリップの取り付けには、必ず付属のM3ワッシャー付きネジを使ってください。他のネジは使わないでください。
- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。
  ネジが緩んだまま使用すると破損、故障の原因となります。
- ネジが傾いていないことを確認してください。
  ネジが傾いたまま使用すると破損、故障の原因となります。

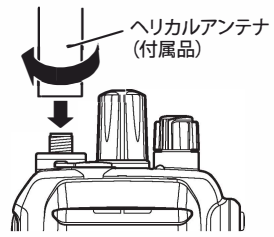
⚠ 注 意

- 必ず電池パックを取り外してからベルトクリップの取り付け作業を行ってください。電池パックを取り付けたままベルトクリップの取り付け作業を行うと、ネジを締める作業がしずらく、ネジの緩みや傾きの原因となります。

アンテナの取り付け

① 本機の電源が切れていることを確認します。

② 本機に付属のヘリカルアンテナを取り付けます。
- アンテナを真っ直ぐに本機のアンテナコネクターに取り付け、アンテナの根本を持って時計方向に回します。
- アンテナが、しっかりと止まるまで回し確実に取り付けます。

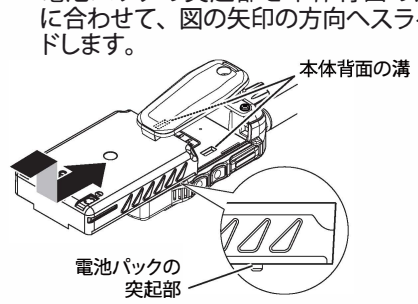


電池パックの取り付け

① 電池パックを十分に充電します。

② 本機の電源が切れていることを確認します。

③ 本機に電池パックを取り付けます。
- 電池パックの突起部を本体背面の溝に合わせて、図の矢印の方向へスライドします。

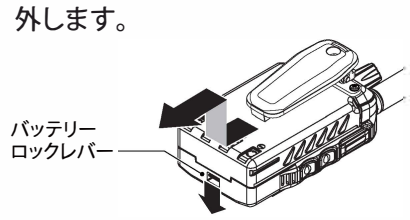


④ 電池パックのロックが上がり、「カチッ」と音がするのを確認します。

電池パックの取り外し

① 取り外す前には、本機の電源を切ります。

② **バッテリーロックレバー**を下方（本機前面方向）へスライドします。その状態で電池パックを図の矢印の方向へスライドし、上方向に持ち上げて外します。



保証・アフターサービス

■【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■【保証期間】

本体保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

■【保証用性能部品の最低保有期限】

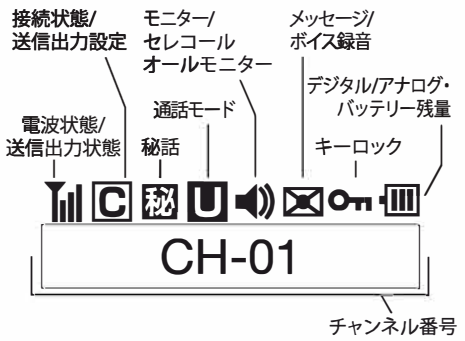
弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

CSRカスタマーサポート
フリーアクセス 0120-973-698
e-mail：wavecsr_support@kcsr.co.jp
ご相談受付時間
9:00 ～ 17:00
（土日祝日を除く）

■表示部



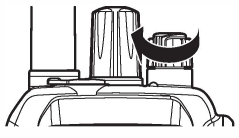
表示の名称	表示の意味と動作
電波状態/送信出力状態	[受信時]：受信信号強度を4段階で表示します。 [送信時]：送信出力がハイパワー時 ：送信出力がローパワー時
接続状態/送信出力設定	[受信時]：相手局と接続中にCが表示されます。 [送信時]：送信出力設定レベルをH/Lの2段階で表示します。 H：ハイパワー設定 L：ローパワー設定
秘話	秘話通話設定中に秘が表示されます。
通話モード	通話モードを表示します。 U：ユーザーコード通話 個：個別通話で個別呼び出し設定 G：個別通話でグループ呼び出し設定 全：個別通話で一斉呼び出し設定
モニター/セレコールオールモニター	：モニター機能動作時 M：セレコールオールモニター機能設定時
メッセージ/ボイス録音	ショートメッセージの受信時またはボイス録音時に表示します。 ：ショートメッセージの受信時 ：ボイス録音時に点滅
キーロック	キーロック中にOnが表示されます。
デジタル/アナログ	チャンネルを変更するごとに1秒間チャンネルがデジタルまたはアナログであることを表示します。 ：デジタルチャンネル ：アナログチャンネル
バッテリー残量	バッテリー残量を4段階で表示します。 →→→ バッテリー残量が点滅したら、速やかに充電してください。
チャンネル番号	チャンネル番号を"CH-01"のように表示します。設定ツールソフトを使用しチャンネル番号をタグ表示に設定する事も可能です。 全角6文字、半角英数字12文字まで表示設定が可能です。

基本の操作方法

受信操作

①「ご使用前の準備」の手順を行います。

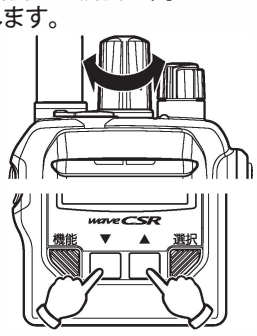
② **電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回して本機の電源を入れます。



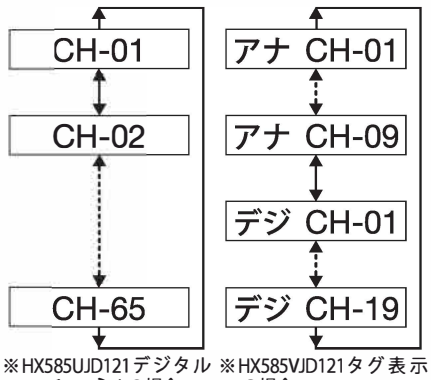
③ **電源/音量ツマミ**で音量を調節します。

- **電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に半分くらい回します。
- **P1（モニター）ボタン**を押すと「ザー」音が鳴りますので、その音を使って**音量ツマミ**を回して音量を調節してください。

④ **チャンネルセレクターツマミ**または**UP(▲)/DOWN(▼)ボタン**でチャンネルを選択します。
- 受信側と送信側は同じチャンネルを選択します。



チャンネルセレクターツマミを右（時計方向）に回す、または**UP(▲)ボタン**を押すとチャンネルがアップします。
チャンネルセレクターツマミを左（反時計方向）に回す、または**DOWN(▼)ボタン**押すとチャンネルがダウンします。



※HX585UJD121デジタル65チャンネルの場合　※HX585VJD121タグ表示の場合

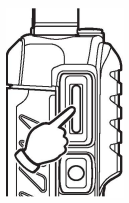
⑤ 信号を受信した時に、スピーカーからは相手局の音声が聞こえます。
- 受信中は**TX/BUSY LED**が緑色に点灯します。

送信操作

①「受信操作」の手順①～④までを行います。

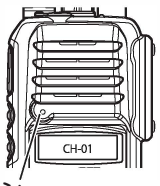
② チャンネルをモニターして他局が使用していないことをよく確認します。

③ **PTTボタン**を押します。



- 送信中は**TX/BUSY LED**が赤色に点灯します。
- **PTTボタン**を押し続け、**マイクロホン**に向かって話します。

④ **マイクロホン**に向かってゆっくり、はっきりと話します。
- **マイクロホン**と口は約5cm程度離してください。



マイクロホン

⑤ 通話が終わったら、直ちに**PTTボタン**を離します。
- **TX/BUSY LED**が消灯し、待ち受け状態になります。

⑥ 相手局からの応答を待ちます。

閉局

① 交信が終わり、閉局する場合は、その旨を相手局に伝えます。

② **電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し切って電源を切ります。

キーロック

通常運用時にキーロックのオンまたはオフを設定します。

① **DOWN（▼）ボタン**を長押しします。
- 「Onr」（キーロックマーク）が表示され、キーロックが動作します。
- キーロック動作中に各ボタンを押すと「ブッ」音が鳴ると同時に「KEY LOCK」が表示されます。
- 本体の**電源/音量ツマミ**、**PTTボタン**および**セカンドPTTボタン**は、キーロック中でも使用できます。また、**P2ボタン**の長押し（エマジェンシー）も使用可能です。

② キーロックを解除するには、**DOWN（▼）ボタン**を長押しします。
- 「Onr」（キーロックマーク）が消え、キーロックが解除されます。

注 意

- アンテナを装着しない状態では、送信しないでください。本機が故障する原因となることがあります。
- 電池パックの充電中は、本機の電源を切ってください。また、本機の操作をしないでください。電池パックの充電が完了しません。
- 電池パックの接続端子部は、きれいにしてご使用ください。電源がすぐ切れる原因となることがあります。
- 充電器は専用充電器をご使用ください。他の充電器を使用した場合、電池パックが故障する原因となることがあります。
- 電池パックは冷暗所で保管してください。温度が高い場所で、電池パックを保管すると、電池パックの自己放電が多くなります。

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 北海道旭川市6条通8-36-25 セントラル旭川7F-G号室 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5本町EASTビル7F URL：https：//www.exseli.com/